

1 『幼なじみの同人作家がエロ漫画の体位資料として、俺の身体を使いたいようです。』

ASMR脚本

2

3

4

5 ◆登場人物

6

7

8 安森 舞果（やすもり・まいか）

9

10 あなたとは生まれたころからの幼なじみ。

11 学生時代から2次元コンテンツにハマり、同人活動開始。成人向け作品がヒットした」とで、同人イベントでは壁サークルの常連になっている。

13 イベント前ということもあって、今は髪もボサボサ、最低限の身だしなみしかしていない。

15 主人公に対して好意を抱いているが、今の関係性が壊れることを恐れて、一步踏み出せ

16 ぎにいる。

17

【幼なじみの同人作家がエロ漫画の体位資料として、俺の身体を使いたいようだ。】

18	1, エロのネタ出し	⑤遠	
19			
20			
21			
22	場所:舞果の部屋		
23			
24	・季節は夏想定です。		
25	SE:窓の外からのセミの鳴き声		
26	SE:エアコンから鳴る冷房の音		
27			
28	・舞果が、主人公を襲うような体勢で迫ってくる。		
29			
30	⑥中		
31			
32	・舞果、オタク特有の早口言葉でまくし立てるように		
33	「来月のイベントで出す新刊が全然進まなくて、やばいの…」		
34	作品とシチュエーションはできているんだけどね、		
35	『魔女の花婿』のサブヒロイン、植松千尋ちゃん本!』		
36			
37	「あんたもアニメ見てたから分かるよね？ 千尋ちゃんの良ヤ！」		
38	主人公が好きなのを隠せてないのに、素直になれないあの絶妙なバランス感！		
39	押しが強いくせに、結局大事なところでヘタれてあと一步が踏み出せなくて…		
40	あああっ！ 最後の最後でヒロインレースに敗北しちゃうあのシーンは、		
41	今思い出しただけでも鳥肌立つてくるー！ くああーーー！」		
42			
43	・舞果、ネタが書かれたメモ帳を作業机の上に叩きつける		
44	SE:紙をテーブルの上に叩きつける音（バンッ）		
45			
46	・舞果、一步主人公の方に体を迫らせて		
47			
48	⑥近		
49	「そんなわけで、今回の内容は、千尋ちゃん救済も兼ねて		
50	勇気を出した千尋ちゃんが主人公に迫ってイチャラブエッチするって感じにする予定！		
51	ただ、ビートしても、いい感じのセリフが思い浮かばないの…」		
52	「だから、実際に話の流れに沿って、エロヒントやってみて、		
53	そん時のセリフを、漫画に起こしたいんだけど、一人じゃわかるわけもないじゃない？		
54	そこであんたの出番！」		
55			
56	・主人公、舞果に圧倒されつつ、反応		
57	・間		
58			
59	「そうよねそうよね！ まあ、あんたがどう答えたって、このわはむハ		

やるって決めてるんだけど！」

「はい、じゃあ、ベッドに仰向きで横になる…すーぐーにつ！」

・主人公、ベッドまで移動して横になる。

SE:主人公・足音

SE:ベッドがきしむ音

SE:衣擦れ音

「ふふ、じゃあ、始めるわね。

今からあくまであんたは主人公、あたしは千尋だから」

「…うん、その前に」

・舞果、カメラを設置

「…あ、これ？ セリフの記録ついでに映像も取つておこうかなって。

実際にやるなら、資料で録つておくに越したことはないでしょ？」

・舞果が服を脱ぎだし、

SE:衣擦れの音 (Tシャツを脱ぐ)

SE:衣擦れの音 (ハーフパンツを脱ぐ)

「んじゅ…記録開始しまーす」

SE:カメラの録画開始音

・舞果、ベッドに乗り、主人公に覆いかぶさるような体勢になる

SE:舞果・足音

SE:ベッドがきしむ音

SE:衣擦れ音

・これまでとは違う甘い声で、

「ふう…ねえ、今夜は千尋を愛してほしいな?」

・舞果、主人公に口付け

「ん…ちゅっ♡」

「えく…勇気出して良かつた。千尋、ずっと、いうことしたかったんだよ?」

「もう一回…もう一回キスしよ?」

60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101

⑥近

⑥接

⑥近

⑥中

④遠

④中

④中・上

④中・上

⑥中

⑥中

102	・舞果、主人公に口付け
103	
104	
105	
106	「ん…ちゅつ♡　ちゅつ…ちゅう…ちゅつ、んふつ、ちゅつ…ちゅう…」
107	「はあ…はあ…んつ♡　あなたの心臓、ドクドク鳴ってる…」
108	「はあ…はあ…んつ♡　あなたに…」
109	⑥近
110	⑥接
111	・舞果、素に戻り
112	「そうね…」で、キスしながら服を脱がせる感じのとか…良さそうじゃない?」
113	・舞果、千尋を演じつつ、キスしながら主人公の服を脱がせる
114	SE:衣擦れ音
115	
116	「ちゅつ…ちゅつ…ちゅううつ♡　んふつ…ちゅつ…ちゅつ…」
117	・主人公の服を脱がせる瞬間だけ、キス止め
118	
119	③⑨近
120	⑥接
121	SE:衣擦れ音
122	・脱がせた後はディープキス
123	⑥接
124	「はあ…」れで、もつとあなたの鼓動…感じられるね♡
125	はあむつ、ちゅ…♡　ちゅう…ちゅりゅりゅ…んんちゅ…あむつ…ちゅつ…じゅりゅりゅ…んちゅ…」
126	
127	⑥近
128	「えくく…千尋の心臓の音も聞かせてあげるね♡」
129	・舞果、主人公の耳を胸に当てる
130	SE:衣擦れの音
131	SE:心音 ※継続
132	
133	③接
134	「えくく?… 千尋もドクドクしてるの」
135	・舞果、胸元から主人公の頭を離して
136	SE:心音 ※終了
137	SE:衣擦れの音
138	
139	⑥近
140	「ねえ…千尋ね…初めてはあなたにあげるって決めてたの。 もらっててくれるよね?」
141	
142	「ううん、ダメなんて言わせない。ちゃんと…おひつじ」
143	

144	・舞果、素に戻つて主人公のパンツを脱がせる
145	「うん、いい流れ。ここは千尋から脱がせる感じでいくから、
146	あんたはされるがままでいて」
147	(6)近
148	⑥中・下
149	SE:衣擦れ音
150	SE:ベッドがきしむ音
151	SE:ベルトを外す音
152	SE:チャックを降ろす音
153	SE 衣擦れ音 (:ズボンを脱がす音)
154	・舞果、千尋を演じながら
155	156
156	「すいこ、もう大きくなつて…」
157	158
158	SE:衣擦れ音 (パンツを脱がす音)
159	160
159	「わあっ♡ これが…おちんちん…」
160	161
161	162
162	・舞果、素に戻り、小声で
163	164
164	「うわやっば…今まで見たのと全然違うわね…ううん♡」
165	166
166	・舞果、千尋を演じながら男性器を触り始める
167	168
168	「…おちんちん、こんなに固くして…すごい、びくびくしてる♡」
169	170
170	「…これが…これから中に…入るんだね…でも、その前に…♡」
171	172
172	・舞果、起き上がつて
173	174
174	SE:衣擦れ音
175	・舞果、腰を動かしてスマタ開始
176	177
177	SE:スマタ時の水音 (グチュグチュ) ※以下継続
178	179
179	「ふう…んふう… あそこをこすりつけて…んんつ…
180	181
180	「うして…元気につ…♡ んふつ…ふう…ふう…気持ちいい?」
181	182
182	・舞果、一瞬素に戻りかけながらも、千尋を演じる
183	184
184	「はああ…♡ これ、こそれで…これだけでも…んんつ…あた…んんつ、千尋も

187	・舞果、腰の動きを止める
188	SE:スマタ時の水音（グチュグチュ） ※終】
189	「じゃあ、そろそろ、1つにならつか♡」
190	「ふふ…騎乗位つて、あたしがあんたを襲っているみたいに見えるんだね」
191	・舞果、素に戻りつつ
192	193
193	「ふふ…騎乗位つて、あたしがあんたを襲っているみたいに見えるんだね」
194	・舞果、主人公のペニスを膣内へ挿入
195	196
196	197
197	198
198	199
199	200
200	201
201	202
202	203
203	204
204	205
205	206
206	207
207	208
208	209
209	210
210	211
211	212
212	213
213	214
214	215
215	216
216	217
217	218
218	219
219	220
220	221
221	222
222	223
223	224
224	225
225	226
226	227
227	「あああ…んふ…あんたの顔、すっごく可愛い♡ ずっと見てたい、見ていたくなる♡ んふ…はい、はい あああ…ふ…ふ…んふ…」
228	SE:ピペーン音・スピードアップ ※以下継続
229	「あああ…あんん…んふ…あんたの顔、すっごく可愛い♡ ずっと見てたい、見ていたくなる♡ んふ…はい、はい あああ…ふ…ふ…んふ…」
230	「あああ…おちんぽ…んん…ちんぽお…気持ちいい♡ これ、感じちゃうのお♡ んふ…ふ…ふ…はあ…ひ…く…んふ…なんだか…ああ…幸せ♡」
231	限界…来ちゃう…かもお…んふ…」

228	・舞果、主人公の方へ倒れ込む。
230	SE:くみくみがきしむ音
231	SE:衣擦れ音
232	233 ⑥近
234	「いれ…やばこ…やばこやばこひて… んんひ、はあ…はあ…んんひ…」
235	「あはひ▽ あんた…今…んひ、ふふひ… んんひ、ふあひ…
236	「こよ、出したいんだよね？ んひ、ふつう…あたしの中に出しかやひてこよ▽」
237	238
239	・舞果、腰の動きを耳ぬつた主人公にわきひ抱き着いて、ティープキス
240	241 ⑥中・下
242	⑥接
243	「はわひ…わきひ…ふひ、んわきひ、わきぱ、んわき…わきりゅう…
244	ほひ、んちゅ、ひひで…あうう…んひ、危険日か、んんひ、えいからんでひひないけつお…▽
245	予じゅ、ほだてらりゅくひこのお…んちゅ…わきのあんはあ…あるからあ▽
246	んん… はあああひ…」
247	・舞果、膣内射精懇願
248	249 「わふ、わらあ…それじご…ハイリッシュは膣内射精ひ…決まひしむ。じしょお…
250	んひ… あひ…出して、出して、出して出して出して… やひ…んんんん…」
251	252 「だ・こ・す・や▽」
253	・主人公、射精。同時に舞果も絶頂
254	SE;射精音
255	256 ⑥中・下
257	258 ⑥接
259	「はああひ…やひ…ひ…ひ…んん… ああひ…はああ、あひ…
260	んん… んん…ん…ん…」
261	262 「んん… ああひ…はあ…はあ…はあ…まだ出ひ…
263	ははひ、すひ…こ、膣内射精ひ…こんな、感じなんだあ…はや…」
264	・舞果、主人公の横に寝転がる
265	SE;衣擦れの音
266	267 ③近
268	「ふ…」わかつたね、あんたと初めてのセックス▽」
269	

270

271

二七〇

274

275

218

278

279

280

288

283

284

380

287

288
③近
「べ、別にいいでしょ！ 本当に気持ちよくなつちやつたんだから…つー

200

291

292

Sect.

295
明治文庫
重文

舞果、ベッドから身を起こして、立ち上がる。

291

200

「つと、その前にカメラカメラ…」

301

三〇三

304

305

200

『力不足の久松が工場長の本立資斗にて、俺の身体を使いたいようです。』

END